

平成28年度  
定期総会資料

と き 平成28年8月5日（金）13時30分～

ところ ひだホテルプラザ 石橋の間

高山本線強化促進同盟会

# 次 第

## 1 開 会

## 2 挨 拶

## 3 議 事

議案第1号 平成27年度事業報告について

議案第2号 平成27年度収支決算について

議案第3号 平成28年度事業計画（案）について

議案第4号 平成28年度収支予算（案）について

報告第1号 役員の改選について

## 4 決 議

決議（案）について

## 5 そ の 他

## 6 閉 会

---

## 7 事 例 発 表

- ・（一社）飛騨・高山観光コンベンション協会 堀 泰則 様
- ・東海旅客鉄道（株） 高山駅 駅長 志田 圭介 様

## 平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
27. 8. 5	平成27年度第1回幹事会を開催 定期総会の日程、提出議案、要望活動について協議
27. 8. 28	平成27年度定期総会を開催（下呂市） ・平成26年度事業報告及び同収支決算並びに平成27年度事業計画（案）及び同収支予算（案）を審議決定 ・以下の決議を審議決定 1 北陸新幹線との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。 2 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し事故防止に努めること。 3 安全で快適に利用できる鉄道施設、車両等のバリアフリー化を推進すること。  定期総会に引き続き、事例発表を実施 「下呂市の観光について」（下呂市観光商工部観光課職員）
27. 10. 27	特急「ひだ」の利用実態調査を実施
27. 11. 15	（岐阜県、高山市、飛騨市職員）
28. 2. 5	東海旅客鉄道株式会社に対し要望を実施（名古屋市） （岐阜県、岐阜市、美濃加茂市、飛騨・高山観光コンベンション協会）
28. 2. 18	西日本旅客鉄道株式会社金沢支社に対し要望を実施（金沢市） （富山県、富山市、富山商工会議所、富山市八尾山田商工会）
28. 3. 23	高山本線利用促進PRリーフレットの作成・配布

## 平成27年度収支決算

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

## 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 負担金	368,000	368,000	0	19団体
2 特別負担金	900,000	900,000	0	富山県・岐阜県(各300,000円) 5幹事市(各60,000円)
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	554,455	554,455	0	前年度繰越金
5 雑入	100	157	57	預金利息
計	1,822,555	1,822,612	57	

## 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 増 減 (△) 額	摘 要
1 会議費	150,000	18,714	131,286	総会、幹事会会場経費等
2 事業費	1,547,555	1,007,649	539,906	調査旅費、PRリーフレット代等
3 事務費	10,000	10,000	0	総会開催通知返信はがき代等
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	90周年記念事業積立金
6 予備費	5,000	2,128	2,872	負担金請求書送付切手代
計	1,822,555	1,148,491	674,064	

収入合計 1,822,612円

支出合計 1,148,491円

差引残高 674,121円(平成28年度へ繰越)

## 90周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	27年度積立額 (b)	27年度末残高 (a)+(b)
0	100,000	100,000

# 監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、平成27年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成28年6月30日

監事 下呂商工会会長 中川 正之

平成28年6月14日

監事 富山市八尾山田商工会会長 井山 泰樹

高山本線強化促進同盟会

会長 岐阜県知事 古田 肇 殿

# 平成28年度事業計画（案）

## 1 基本目標

高山本線は、これまで我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側を結ぶ大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

平成27年3月14日に北陸新幹線の長野ー富山・金沢間が開業され、平成39年にはリニア中央新幹線の東京ー名古屋間の開業が予定されており、これまで以上に地域間の交流・連携が図られる。

また、高山本線は沿線に多くの観光地を有するとともに、車窓風景も美しい「観光路線」であり、平成24年1月より始まった外国人観光客誘致のための「昇龍道プロジェクト」の取り組みと相まって、北陸と東海を内陸で結ぶその重要性はますます高まるものと期待される。

なお、平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震においては、各地に甚大な被害がもたらされ、交通機関も大きな打撃を受けたが、高山本線においても、南海地震の今後50年以内の発生が確実視されており、大規模災害時にも社会基盤としての機能を損わないような設備・体制の整備をこれまで以上に促進していく必要がある。

こうした情勢を踏まえ、本同盟会は一致協力し、高山本線の旅客輸送サービスの強化改善、大規模災害を視野に入れたより一層の安全確保に向けた取り組みを展開していく。

## 2 活動項目

- (1) 東海旅客鉄道及び西日本旅客鉄道に対する要望
- (2) 高山本線の利用者増に向けた広報・啓発活動
- (3) 全国鉄道整備促進協議会等の関係機関との連携及び情報収集活動
- (4) その他本同盟会の目的達成に必要な事項

## 平成28年度収支予算（案）

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

## 収入の部

(単位：円)

科 目	平成28年度 予 算 額	平成27年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	368,000	368,000	0	19団体
2 特別負担金	600,000	900,000	△300,000	岐阜県・富山県
3 繰入金	0	0		
4 繰越金	674,121	554,455	119,666	前年度繰越金
5 雑入	100	100	0	預金利息
計	1,642,221	1,822,555	△180,334	

## 支出の部

(単位：円)

科 目	平成28年度 予 算 額	平成27年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	150,000	150,000	0	総会、幹事会経費等
2 事業費	1,367,221	1,547,555	△180,334	利用実態調査経費及び 広報・啓発事業経費等
3 事務費	10,000	10,000	0	振込手数料
4 負担金	10,000	10,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	100,000	100,000	0	90周年記念事業積立金
6 予備費	5,000	5,000	0	
計	1,642,221	1,822,555	△180,334	

## 90周年記念事業の部

(単位：円)

前年度までの積立額 (a)	28年度積立額 (b)	28年度末残高 (a)+(b)
100,000	100,000	200,000

平成28年度負担金内訳

(単位：円)

団体名	負担金額	団体名	負担金額
愛知県	28,000	白川町	6,000
岐阜県	57,000	飛騨市	28,000
岐阜市	28,000	岐阜商工会議所	6,000
高山市	28,000	高山商工会議所	6,000
美濃加茂市	16,000	下呂温泉観光協会	6,000
各務原市	16,000	富山県	57,000
下呂市	28,000	富山市	28,000
坂祝町	6,000	高岡市	6,000
川辺町	6,000	富山商工会議所	6,000
七宗町	6,000		
		合計	368,000

団体名	特別負担金額
富山県	300,000
岐阜県	300,000
計	600,000

## 役員改選について

高山本線強化促進同盟会会則第6条第1項の規定により、富山県知事を会長に互選しましたので報告します。

また、同条第2項の規定により、別紙のとおり、役員委嘱を行いましたので報告します。

任期 平成28年8月1日～平成30年7月31日

平成28年8月5日

## 役員名簿

平成28年8月1日～平成30年7月31日

役名	職名	氏名
会長	富山県知事	石井 隆一
副会長	岐阜県知事	古田 肇
〃	愛知県知事	大村 秀章
理事	富山市長	森 雅志
〃	高岡市長	高橋 正樹
〃	岐阜市長	細江 茂光
〃	高山市長	國島 芳明
〃	美濃加茂市長	藤井 浩人
〃	各務原市長	浅野 健司
〃	下呂市長	服部 秀洋
〃	富山商工会議所会頭	高木 繁雄
〃	岐阜商工会議所会頭	村瀬 幸雄
〃	高山商工会議所会頭	北村 斉
幹事	愛知県振興部交通対策課長	中川 喜仁
〃	富山県知事政策局 総合交通政策室課長（地域交通担当）	助野 吉昭
〃	富山市都市整備部交通政策課長	古西 達也
〃	岐阜市企画部交通総合政策課長	青木 保親
〃	高山市基盤整備部都市整備課長	尾前 隆治
〃	飛騨市総務部総務課長	泉原 利匡
〃	下呂市経営管理部企画財政課長	河尻 健吾
〃	岐阜県都市建築部都市公園整備局 公共交通課長	大城戸 克之

監	事	下呂商工会会長	中	川	正	之
”		富山市八尾山田商工会会長	井	山	泰	樹

# 決 議 (案)

高山本線は、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

これからも高山本線の存在は、太平洋側から日本海側に至る個性豊かな日本の中央部における広域交流圏を形成するうえで必要不可欠であり、沿線地域の産業、文化、生活等の諸機能の整備とあいまって、中部圏の活性化に大きく貢献するものと確信する。

平成27年3月14日に北陸新幹線の長野一金沢間が開業し、首都圏と北陸との時間距離が飛躍的に短縮され、さらに、平成39年にはリニア中央新幹線の東京一名古屋間の開業が予定されており、今後、地域間の交流・連携が一層図られることが期待される。

また、高山本線は沿線に多くの観光地を有するとともに、車窓風景も美しい「観光路線」であり、平成24年1月より始まった外国人観光客誘致のための「昇龍道プロジェクト」の取り組みと相まって、北陸と東海を内陸で結ぶその重要性はますます高まるものと期待される。

このような中、JR東海及びJR西日本においては、今後も、より一層の安全対策、安全運行を確保されることはもとより、北陸新幹線及びリニア中央新幹線開業を機に新たな交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、高山本線の一層の利便性の向上に努められることが強く望まれるところである。

よって、我々は、高山本線の強化促進に向けて、次の事項について一致協力して、強力な運動を展開するものとする。

- (1) 北陸新幹線との相乗効果やリニア中央新幹線の開業を視野に入れ、所要時間の短縮や列車本数の増加など、旅客輸送サービスの強化改善を推進すること。
  - ・ 特急「ひだ号」の増発
  - ・ 北陸新幹線との乗り継ぎの利便性を確保するダイヤ改正
  - ・ 観光シーズンに併せた臨時列車の運行拡大
  - ・ 利用実態の把握
  - ・ 電化及び複線化の促進
  - ・ 部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ
- (2) 輸送の安全、防災対策を充実させるため、あらゆる角度から強化改善を検討し事故防止に努めること。
  - ・ 危険箇所の保守点検や保安設備の強化等の積極的な推進
  - ・ 災害や事故発生時における機能的な連絡体制の構築
- (3) 安全で快適に利用できる鉄道施設、車両等のバリアフリー化を推進すること。

以上決議する。

平成28年8月5日

高山本線強化促進同盟会